

# 競 技 注 意 事 項

- 1 本大会において適用する規則は、2024年度日本陸上競技連盟規則による。
- 2 招集は、以下の手順で行う。競技招集時刻に遅れると棄権とみなされ出場できない場合があるので十分注意すること。
  - ・招集については、下記の時間帯で実施する。

トラック競技	競技開始40分前～20分前まで
フィールド競技	競技開始60分前～30分前まで
混成競技	その日の第1種目のみ上記の時間に、招集所で点呼を受け その後の種目は現地にて招集を受けること

- ・招集所においては、アスリートビブスを持参の上、競技者係のチェックを受けること。
  - ・トラック競技は出発点、フィールド競技は選手待機場所付近にて競技開始の10分前に最終点呼を取るので遅れないように集合すること。
  - ・棄権をする場合は、招集完了時刻までに棄権届（本部席総務に準備）を競技者係に提出すること。
- 3 リレーのオーダーは、規定の用紙（招集所に準備）にて、各ラウンドの招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。そして招集は20分前までに完了すること。
  - 4 スパイクのピンは全天候走路型とし、長さは9mm以下とすること。但し、走高跳・やり投については12mm以下とする。
  - 5 出場者は胸、背部にアスリートビブスを付けて出場しなければならない。トラック競技に出場する選手は競技者係から配布された腰ナンバーカードを右腰やや後ろ側に付けること。但し、跳躍種目に出場する選手はその種目に限り、胸部又は背部のいずれかを除いてもよい。
  - 6 不適切行為による競技者およびリレー・チームへの警告は累積され、2度目の警告を受けた場合は除外（失格）となる。除外された場合、当該競技会のそれ以降の全ての種目やラウンドに出場できなくなる。
  - 7 トラック競技の不正出発は1回で失格となる。
  - 8 リレーに出場するチームは全員同系色ユニフォームで出場すること。（ユニフォームとは上・下をいう）
  - 9 トラック競技のプラス進出者の最後の1枠に同成績（0.001秒まで同じ）がいる場合、空きレーンがあれば全員が次ラウンドに進出するが、空きレーンがなければ、次ラウンドへの進出者は抽選により決定する。
  - 10 フィールド種目においては、出場人数にかかわらず予選は行わない。
  - 11 バーの上げ方  
男子走高跳（1.55～） 1.60 1.65 1.70 1.75 1.80 1.83（以降3cm刻）  
女子走高跳（1.25～） 1.30 1.35 1.40 1.45 1.50 1.53（以降3cm刻）  
練習は（ ）内の高さで行う。ただし、気象条件等により変更することがある。  
男女棒高跳、及び混成競技の走高跳については、当日現地にて決定する。
  - 12 走高跳においては、トラック側にマットを設置する。
  - 13 三段跳においては、踏切板を男子は11m、女子は9mに設定する。
  - 14 練習については、審判員の指示に従い事故のないように十分注意すること。滑止めを使用する場合は、各自で用意をすること。
  - 15 やり投の持参のやりについては、検査のうえ使用を認める。検査は本部前にて招集完了までに受けること。
  - 16 フィールド種目の競技者がコーチ等から録画機器を受け取ってビデオを見ることはできるが、通信や撮影等、動作確認以外には使用することができない。また、録画機器の受け渡しは、コーン等で指定されたエリア（安全且つ競技運営に支障のない場所）で、ひもやかご等（各チームで準備）を使用して行うことができるが、機器が破損した場合、主催者は一切の責任を負わない。なお、投げ渡しや身を乗り出しての危険な状態での受け渡しは認めない。
  - 17 ウォーミングアップについては、競技場前運動場で行う。周回競技および棒高跳競技中は、バックストレートは使用できない。なお、安全に十分留意して行うこと。メイン競技場での練習は競技開始の30分前までとする。
  - 18 高体連規定により、各学校引率教員のない学校の出場は認めない。
  - 19 選手変更（補欠との入れ替え）については、本部総務席で行う。
  - 20 各種目8位までの入賞者は県大会に出場できる。（競歩は5位、混成は6位まで）  
会場：博多の森陸上競技場 期日：5月24日(金)～26日(日)
  - 21 応援はマナーを守って行うこと。